

# 建通新聞

神奈川

## ICTなどテーマ 技術講習会を開催

神奈川県測量設計業協会(神測協)関本親義会長は9日、ICTなど



年度第2回技術講習会を

横浜市中区の神奈川県民ホールで開き、会員ら約100人が参加した。写真。

開会のあいさつで関本会長は、「最近、『神奈川県では3Dレーザースキヤナーやドローン(UAV・小型無人航空機)といった3次元測量の活用実績がまだ少ない』との話を耳にした。この講習会を通じて、iConstructionなどへの理解を深めることも、国土地理院で考えて

いる測量行政について学んでほしい」と述べた。今回、国土地理院関東地方測量部の乙井康成部長が「測量行政」について講演した他、コマツカスタマーサポートの担当者らが「コマツのICT活用工事への取り組み」を紹介。その後、「iConstructionに取り組みもつと考える方々へ」と題して、トリプルパートナーズ神奈川・静岡の中町浩行氏が

講義した。

## 下水道BCPの 図上訓練を実施

横浜市環境創造局

横浜市環境創造局は9日、災害時対応力の強化に向けた下水道BCP(事業継続計画)図上訓練を行った。写真。市内に最大の地震被害をもたらすとされる「元禄型関東地震」による下水道



設の機能停止を想定し、状況付与型のロールプレイング方式で実施した。訓練開始を前に、野村宜彦環境創造局長は「近頃、全国各地で大規模地震が発生しており、横浜市でもいつ起きてもおかしくない状況。訓練を通じて、大規模地震発生時に迅速に対応できる力を身に付け、市民の安心・安全の確保につなげたい」とあいさつした。

訓練は、災害発生時の実相に近いシナリオを組み合わせ、コントローラー(進行側)とプレーヤー(訓練を受ける側)とに分かれて実施。付与された状況に対応を判断、実行しながら訓練を進めた。同訓練にはコントローラーとして、災害時支援

協定を締結している▽横浜市下水道管理協同組合▽横浜管機設備協会▽横浜下水道保全業協会▽横浜市建設コンサルタント協会▽横浜市管工事協同組合▽横浜市地質調査業協会▽日本建設業連合会▽関東支部▽神奈川県測量設計業協会▽横浜支部▽横浜市補償コンサルタント協会▽全国上下水道コンサルタント協会▽関東支部といった建設関連の団体などが参加した。